

# 日本心エコー図学会 教育委員会 地方における小規模講習会に関する報告

2013. 10. 10

教育委員会では、若手医師への心エコー図学の普及・啓蒙に努めるため、大都市圏以外での小規模講習会を行うこととした。まず第1回目のモデルケースとして、2013. 10. 5に福島県の研修医等を対象としたハンズオンセミナーを企画・開催したので報告する。

1) 概容は以下の通り。

セミナー名：平成25年度福島県臨床研修ネットワーク レジデント・スキルアップセミナー  
「今こそ心エコー図法を自分の武器にしよう」～スペシャリストから学ぶ心エコー図のA to Z～

主催：福島県、福島県臨床研修ネットワーク  
共催：日本心エコー図学会  
企画：日本心エコー図学会 教育委員会  
事務担当：福島県臨床研修ネットワーク事務局  
日時：2013年10月5日(土) 9:30～16:30  
場所：コラッセ福島 研修室A/小研修室(福島駅西口徒歩3分、準公的施設)  
対象：福島県内の初期研修医(専攻医も可)  
参加者：定員35名に対し、42名の申し込みあり(当日までに2名キャンセル)。  
当日参加39名、欠席1名(出席率97.5%、初期研修医 1年目24名、2年目12名)。  
内容：初心者を対象とした心エコー図法の講義とハンズオン  
超音波装置：6台  
被検者：健常者6名

2) 予算について

本セミナーは福島県の医師確保のための「福島県地域医療人材育成事業(福島県地域医療再生基金)」の予算から支出された。

3) プログラム

2つのセッションにわけ、午前中は基本的な内容として、20分程度の講義とそれに引き続きハンズオンを行った。午後はより臨床的な内容とし、講義の後、救急外来で使う場合を想定してハンズオンを行った。さらに、最後の講義では心エコー図学の魅力を伝えるべく、今後の心エコー図学の発展性について話をした。

開会の挨拶	大谷晃司(福島医大 医療人・育成支援センター)
日本心エコー図学会教育委員長挨拶	瀬尾由広(筑波大学循環器内科)
セッション1 9:35- 心エコー図法の基本を識る	座長 高野真澄(福島医大集中治療部)
20分 心エコー図の基本断面の成り立ち	演者 渡部朋幸(わたり病院内科循環器科)
実習 35分 基本断面の描出とEF(シンブソン法)	
20分 ドブラ法の基本	演者 伊藤記彦(岩手医科大学検査部)
実習 35分 カラー、PW、CWの使い方を習得	
20分 ドブラ法を使って心不全を評価する	演者 藤田雅史(みやぎ県南中核病院検査科)
実習35分 E/A, E/E', TR-PG	
休憩 1時間	
セッション2 13:30- 臨床現場で心エコー図法を使う	座長 瀬尾由広(筑波大学循環器内科)
20分 壁運動異常をよむ	演者 伏見悦子(平鹿総合病院 循環器科)
20分 心不全かどうかを判断する	演者 高野真澄(福島医大集中治療部)
20分 救急外来での使い方	演者 菅原重生(日本海総合病院循環器内科)
実習 60分 救急外来を想定して心エコー図を撮る	
セッション3 15:30- 心エコー図法の最先端を識る	座長 渡部朋幸(わたり病院内科循環器科)
20分 3D心エコー図法による狭心症・弁膜症評価	演者 高野真澄(福島医大集中治療部)
20分 Structural Heart Diseaseと心エコー図法	演者 瀬尾由広(筑波大学循環器内科)
閉会の辞	大谷晃司(福島医大 医療人・育成支援センター)

### 3) 指導者について

講義は教育委員会から4名、福島県の評議員1名、東北地方の専門技師2名が担当した。ハンズオンは6グループで、1グループあたり参加者6-7名に対して、指導者2名の体制とした（福島県内の超音波検査士5名が指導者として参加）。

### 4) 参加者からのアンケート結果について（詳細は別紙参照）

参加者は初期研修医（1年次：2年次＝2：1）で、ほとんどが心エコー図の経験がない状態で参加したが、講義の内容およびハンズオンの内容も難しすぎず、ちょうど良い内容と評価された。ハンズオンの時間（1人あたり6-7分×4回）が短いという声があったが、ちょうど良いという声の方が多かった。セミナー全体の満足度は「良かった、とても良かった」が91.9%、今後同様のセミナーに参加したいかという問いに対して「参加したい、是非参加したい」が91.9%であり、非常に好評であった。

### 5) 指導者からの感想

#### <教育委員会委員>

- ・ 研修医がとても熱心で、何回かハンズオンを繰り返すうちに、どんどん上達していったので、参加者もやりがいがあったのではないか。
- ・ 自院の研修医に話したらうらやましがられ、ぜひ院内でも企画してほしいとの声が上がった。循環器内科のローテート中は忙しくてゆっくりプローブを持つ時間を確保できていない現状にあらためて気づかされた。まずは本セミナーの流れを参考にして、院内でハンズオン形式の勉強会を企画しようと思う。
- ・ 全国いろいろな地域や病院でこのような勉強会、セミナーが開催できるとよい。

#### <福島県の超音波検査士>

- ・ 指導する立場からの新たな発見があり、勉強になった。
- ・ どの参加者も真剣に心エコー図検査を習得しようと、目を輝かせて、講義・実習に参加していた。逆に私が間違ったことを教えなかったか、きちんと質問に答えていたか、反省した。
- ・ 今回のセミナーをきっかけに研修医の先生が心エコー図検査に興味を持ってくれたらと切に願う。当院の〇〇先生は心エコーに興味を持ったようだったが、今後、心エコーに携わる時間がとれるかどうかの問題である。しかし、本セミナーが心エコーに興味をもつきっかけになったのは間違いないと思う。

### 6) まとめ

若手医師に心エコー図学に興味を持たせるため、初めての試みとして企画した小規模講習会であったが、地域の既存組織（福島県臨床研修ネットワーク）と連携をとることにより、円滑な運営が可能であった。

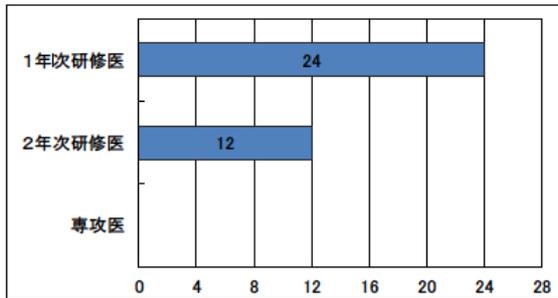
セミナーの内容としては、初期研修医のレベルにちょうど良い講義内容であった。ハンズオンは時間が短めではあったが、一日を通してどんどん上達していったことを参加者・指導者ともに実感した。

今後、若手医師に心エコー図学へ興味を持たせ、臨床レベルのアップを図るために、同様のセミナーを各地で開催することは効果的であると考えられた。但し、各地域での円滑な開催のためには、地域の組織との連携が必要と感じる。

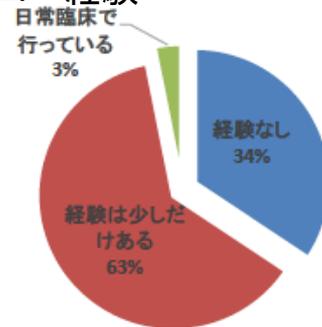
（文責：福島県立医科大学 高野真澄）

平成25年度福島県レジデント・スキルアップセミナーアンケート集計  
(参加者 39名、回答者 37名、回答率 95%)

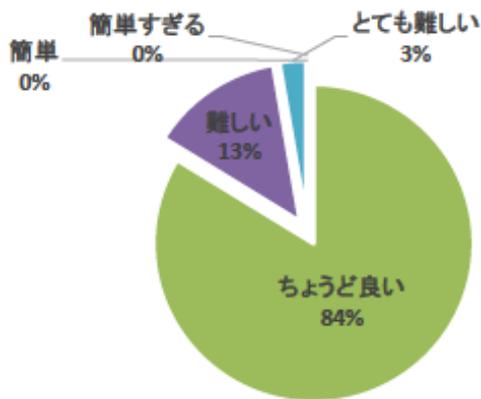
1. 職種



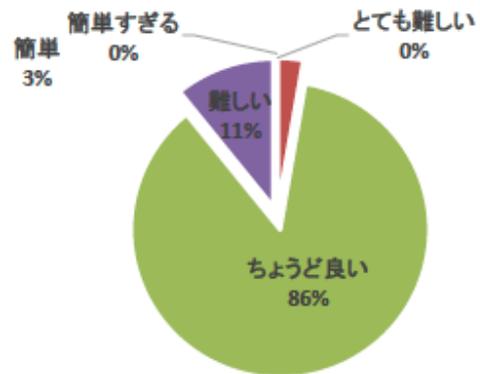
2. 心エコー経験



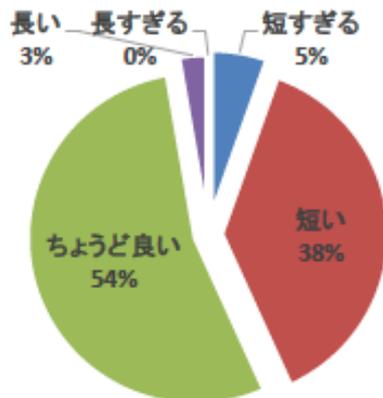
3. 講義内容について



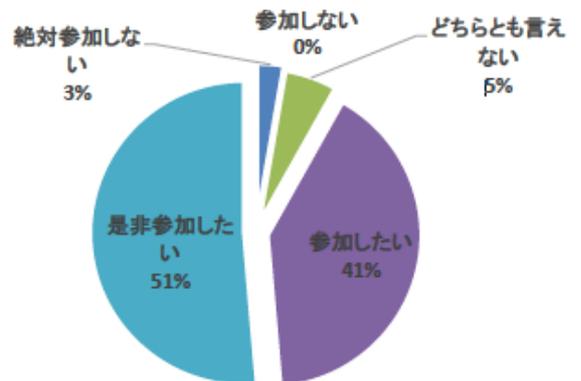
4. 実習内容について



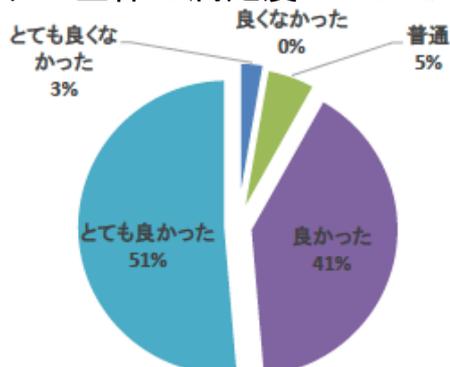
5. 実習時間について



6. 今後、同様のセミナーがあれば参加したいですか？



7. セミナー全体の満足度について

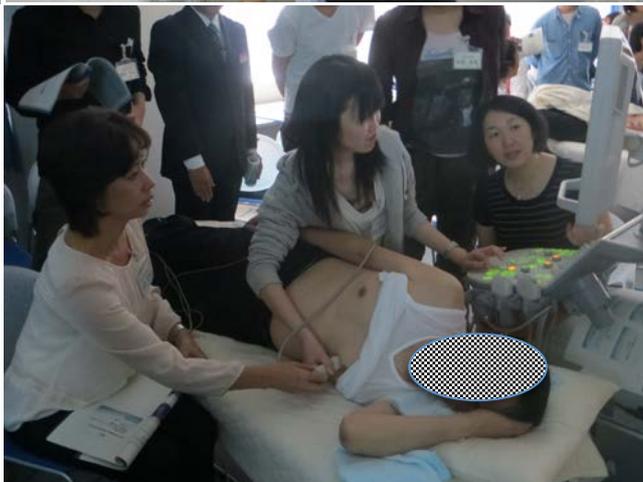


平成25年度福島県臨床研修ネットワーク レジデント・スキルアップセミナー  
「今こそ心エコー図法を自分の武器にしよう」  
～スペシャリストから学ぶ心エコー図のA to Z～

主催： 福島県、福島県臨床研修ネットワーク  
共催： 日本心エコー図学会  
日時： 2013年10月5日(土) 9:30～ 16:30  
場所： コラッセ福島 研修室A/小研修室



写真掲載にあたっては参加者の許諾を得ております



写真掲載にあたっては参加者の承諾を得ております



写真掲載にあたっては参加者の許諾を得ております